

2023 年春学期 クイーンズ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

Core class では曜日ごとに授業で行うタスクが決まっていた。例えば、月曜日は今週取り上げるトピックについて、自分の知っている知識をペアワークでインタビュー形式で確認した。加えて、金曜日には学生一人ひとりが事前にニュースを見聞きして、それをもとにグループディスカッションを行った。vocabulary class では毎週の単語テスト、discussion class ではリスニングテストとスピーキングテストを交互に行った。どの科目も学生が主体となって、発言や質問が頻繁にできた。

先生が用意した教科書のトピックに沿って授業を行う。

私は一回生の時に IES に所属していましたが、授業形態は似ていました。クラスによって進め方は違うと思いますが、私のクラスでは文法よりもエッセイの書き方や、パラグラフの書き方をメインに習いました。それ以外は教科書に沿った授業を行っていました。どのクラスも週に1回はテストがありましたが、そこまで難しいとは感じませんでした。

先生や学生たちと沢山話し協力しながら授業を進めることがメインでした。先生には何をならいたいかを伝えたらそれを元に授業を組んでくれました。

コアクラスでは教科書を用いて環境や教育など各カテゴリーについて学習しました。主にその分野についての話し合いをクラスメイトとし、語彙やリーディングを強化しました。また、エッセイの書き方を学び、プレゼンテーション、ディベートを行いました。他にもリスニング・スピーキング、ポキャブラリー、ディスカッション、エレクトティブのクラスもありました。

授業はグループワークが多かったです。教室で座るのもみんながまっすぐ前を向いて座るのではなく、初めからグループになって座っていました。授業の進め方はほとんどが教科書に沿って進められていました。教科書の内容などはグループワークで進めていき、理解できないところなどは友達に聞いたり、先生に聞いたりするようになっていました。

core の授業は教科書のトピックに沿って進められた。トピックに関する語彙、文法、ディスカッション、長文読解をし、先生は授業のヒントを与え学生が考える形だった。また、ペアワークも多かった。スピーキングの授業は他の学生との話し合い、発音の練習、毎回小テストがあった。

最初にテストの結果によってクラス分けがされ、コア、ディスカッション、ポキャブラリー、スピーキングの授業がある。全ての授業はクラスごとに行われ、進め方は、学生が理解しているかを確認しながら進めてくれるので、理解できずに進むことが少なかった。課題は毎回出て、日により量は違うが、中間テスト前や期末テスト前はパワーポイントを作ったり、原稿を制作したりしないといけないため、やらないといけない事が多かった。

自分の英語のレベルに合わせてクラスが分けられていて、自分のクラスにあった教科書が与えられ、それをユニットに沿って進めていく。そのほかに、プレゼンテーション等があった。

基本課題、テストを行なっていて、グループワークがたくさんありました。

ペアやグループでディスカッションをすることが多かった。問題を解いたり考えたりする時は、隣の席の子と話し合っコミュニケーションをとりながら考えることが多かった。

Core class では、毎日教科書を順番に学習していました。その中にチャプター1では比較級、2では現在進行形などのグラマーも含まれていてネイティブの先生から場面でのリアルな使い方などを学習しました。Discussion class では教科書は使わずに自分たちの考えや言葉だけを使い、スピーキングに慣れるような学習方法でした。Vocabulary class では毎週、テスト返却とフィードバック、単語テストをしていました。Lab-spoken class では毎週先生が準備する題材について考え自分の意見を発表する授業でした。全体的に、先生からの問いかけに自ら応える機会が多かったです。

授業形態は、問答型授業と対話型授業でした。先生が一定の情報を与えてある問題について私たちに考えさせて発言することがありました。また、クラス内でグループを作り、あるトピックについて英語で話し、意見交換や新しいアイデアを一緒に考えるなどしました。アクティブな授業だと感じました。

授業の進め方では、教科書をメインに使っていました。教科書に載っている問題を家で解き、学校でみんなで答えをシェアして先生に解説してもらいました。教科書にはトピックが沢山あり、一つずつに文法や長文がありました。トピックが一つ終わるごとに毎週テストをしました。

クラスによって担任の先生がいました。担任の先生の授業が毎日ありました。先生 1 人对学生 13 人くらいで授業を行っていました。

教科書の問題を解いて、そのトピックについて考え話し合い自分の意見を発表するというような感じでした。週に1回ユニットごとにテストがあったので、それに向けて勉強していくような感じです。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

私のいたクラスは、日本人9人、中国人1人、韓国人1人の計11人のクラスだった。

クラスの人数は8人で、内5人が日本人(外大3人、関学2人)でした。他3人は、中国人2人、アラビア人1人でした。

11人中9人日本人、韓国人と中国人1人ずつ

8人中、日本人5人、中国人2人、イラク人1人

クラスの人数は14人で、日本人は12人でほかの国の人は2人でした。2人のうち1人にはチリ出身の方でした。彼女はカナダで働くために英語を勉強しにきていました。もう一人の方は、アフガニスタン出身の方でした。彼女はクイーンズ大学で勉強するために英語を勉強していました。

日本人女子が5人、イラク人女子が1人、中国人男子が2人の8人。

クラスの人数は13人でした。比較的他のクラスよりも人数が多かった。クラスの8:2くらいで日本人が圧倒的に多いクラスでした。留学生はアフガニスタンの留学生の子とチリの子がいました。

クラスの人数は14人で、ほとんどが日本人留学生でした。14人中2人がチリとアフガニスタンの学生でした。その二人はカナダの他の大学で勉強するために英語をクイーンズ大学で学んでいました。

9人日本人、中国人1人、韓国人1人の11人クラス構成だった

私のクラスは14人でした。その中でチリ出身とアフガニスタン出身の留学生がおり、それ以外は日本人でした。

クラス人数は12人であり、日本人は10人、留学生は2人でした。留学生は、メキシコ人とシリア人でした。

13人のうち1人だけチリ出身の方でした。他の人は全員日本人です。

クラスの人数は14人で、9割が日本人でした。他の留学生の出身国はチリでした。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

これは担任の先生によって大きく異なると考えられるが、日本と違って、クラスの雰囲気がとても明るく、良い意味で楽だった。授業前や休憩時間には、先生も一緒に雑談をして盛り上がり、学生の笑いをとったりしてくれたので常時良い雰囲気だった。たまに、雑談が長引いて授業開始時間を遅らせることもあった。さらに、クラスメイト同士の仲がとてもよかったので、全員が楽しく過ごすことが出来た。

積極的な発言を求められる

クラスの雰囲気はとても良かったです。みんな仲が良く、みんなのおかげでこの留学を乗り越えることができましたと思います。先生もすごくいい人で、私たちのことを1番に配慮してくれ、宿題の量などを考えてくれました。日本の授業と違う点は、一方的に聞くだけの授業ではなく、ディスカッションや意見交換の多い授業でした。また、間違いを気にすることなく、みんなが意見を発言しやすい環境だったと感じました。

皆で仲良く授業を受けていました。先生とは凄くフレンドリーに接していたので質問しやすい点で日本との違いを感じました。

英語オンリーであることやスマートフォンの使用が認められないなど厳しくあるべき点は厳しいですが、授業中の発言がしやすく、クラスメイトと楽しく過ごしていました。話し合いが多いため想像力が鍛えられました。

日本の授業では最初に全員が前を向いて座って授業が始まることが多いですが、カナダでの授業はすべてのテーブルが前を向いている教室は少なく、テーブルがグループの形に初めからなっていて座るだけでグループになるようにテーブルが置かれていました。授業中はお菓子を食べてもジュースを飲んでも、基本的に授業に参加できる程度のもは自由にできました。先生も自分の犬を連れてきて、犬とみんなで楽しく授業ができるようにして

<p>くれていました。</p>
<p>先生が1人で話すだけや教科書を見るだけの授業は全くなかった。必ず発言する機会があったし、ペアワークが多かったのでみんなよく集中していた。授業中に朝ごはんやスナックを食べることも許可されていたのでリラックスした雰囲気、日本の授業より楽しさを感じられる授業だったと思う。</p>
<p>日本人以外の留学生は、積極的で、発言も良くするため、クラスのムードメーカー的な存在だった。クラスの席順は決められていなかったのと、先生がくじ引きで席を決める事があったので、クラスの人々とコミュニケーションを取ることができた。</p>
<p>自分の意見を述べる前に手を挙げてから述べる日本とは違い、思った意見は口々に言うというものだった。</p>
<p>授業では、特にチリとアフガニスタンの留学生が発言をよくしていました。また、先生はよくインターネットを使った授業をしていました。</p>
<p>学生の要望を取り入れながら、授業を進めてくれた</p>
<p>一番感じた違いは、クラスメイト全員が意欲的に授業に参加しようとして自ら発言する人が多かったことです。段々と間違ってもいいから自分の考えや答えを述べられる雰囲気になっていったため、発言する学生が初めに比べて多くなっていたと思います。</p>
<p>クラスの雰囲気は、とても明るくて、居心地がとても良かったです。日本に比べて、発言する人が多く、考えをすぐ言える人がいました。また、発言する機会が多かったです。はじめは、発言する人が少なかったのですが、先生が色々な人を当てて、答えるという機会を作ってくれました。そのおかげで誰も当てられてなくても、自ら発言できるようになりました。クラスの雰囲気がとても良かったので、毎日学校行くのがとても楽しみでした。</p>
<p>雰囲気は良い方だと思います。日本人ばかりだったので、日本とあまり変わらない。</p>
<p>日本人がほとんどだったのであまり雰囲気は変わらなかったですが、日本の授業に比べてみんなで話し合ったり、自分の意見を発表したりする機会が多かったと思います。</p>

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

<p>自然災害について。日本で体験したことのない事例について学び、プレゼンテーションを行った。</p>
<p>次世代の再生可能エネルギー</p>
<p>SDGsをすごく重要視していた印象です。教科書でも取り上げられて、ディスカッションの議題にもなり、またファイナルエッセイのお題でもありました。カナダでは日本よりもプラスチックなどの環境問題により積極的に取り組んでいる印象で、SDGsを大切にするのは国柄も関係しているのではないかと思います。</p>
<p>動物実験です。実際のビデオや渡された紙にかいてあった質問や動物実験の情報を读んだりする機会はほとんどないと思うので印象的でした。</p>
<p>環境、アート、教育、SDGs</p>
<p>カナダと日本やほかの国との習慣の違いなどを比べるトピックが多くてそれはすごく印象に残っています。みんなそれぞれの文化があって、お互いにそれを比べて学んでいくのはすごく楽しかったし、日本以外の国への興味がすごくわきました。</p>
<p>SDGsは何度も取り上げられたトピックで、日本ではあまりしっかりやったことのない内容だったので基礎知識がな難しかった。特に Renewable energy は深く学んだので印象に残っている。</p>
<p>私が最も印象に残っているトピックは、ディスカッションの授業での同性婚について話し合うもので、近年同性婚を認められている国は増えているが、なぜ日本は認められないかを話し合った時に、日本の政治家は他の国に比べて年齢層が高く同性愛やLGBTQに対する理解が少ない固定概念を持った政治家が多いのではないかと、少子化問題に繋がると考えられているなどの意見が出た。私がカナダに行って感じたことは、同性婚に限らず、日本よりも家庭の事情がオープンであると思った。なぜならカナダでは離婚している家庭も隠すこと、次の再婚を周りの人からお祝いされるような環境だからだ。そのため、様々な形の結婚が理解されやすい環境だと思った。</p>
<p>それぞれの国の文化。例えば、日本人は集合時間の5分前には着いておくが、インドは30分ほど遅れてくる。</p>
<p>カルチャーショックの授業が印象に残っています。カルチャーショックという話題は留学していた自分に身近で、その授業ではカルチャーショックについて自分の意見を述べたり、動画を見て単語や言い回しを学んだりしました。</p>
<p>実験のために多くの動物を使用し、命が犠牲にされているというトピックが印象的だった</p>

私が印象に残っているトピックは、“ファストファッション”と“国同士の文化の違い”です。まず、ファストファッションは最も自分にとって身近なトピックであったからです。また、世界中のゴミの中で衣服のゴミが最も多いことを学習し大変驚きました。このトピックを学習した後は、服に対しての考え方、買い物の仕方をより深く考えるようになりました。二つ目の国同士の文化では日本人は集合時間よりも早く来るが、他の国ではピッタリに来たりわざと遅れてきたりするなど自分が当たり前だと思っていた行動や文化が他の国では適用されていないことを知りました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは、自国とカナダを比較したことです。授業内でそのプレゼンテーションがあり、沢山調べたのでとても印象に残っています。私はその中で日本とカナダの学校の給食について調べました。日本では、給食があるのは当たり前になっていますが、カナダでは給食がなく、お弁当を持っていくスタイルでした。また、カナダでは給食を提供している学校がありました。それらは、調べないとわからないことだったので、カナダにいる中で知らなかったことを自ら調べ、沢山知れるきっかけになりました。

学校の制服はあるべきかどうかというトピックについて議論したり、レポートを書いたことが印象に残っています。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

分からないことは授業後ではなく、即座に先生に質問するようにした。そのようにしないと、その後の授業についていけないと思ったからだ。実際にそれを意識するようになってからは、理解度が増すと同時に質問をすることの緊張もなくなった。

積極的に意見を言うこと

先生に1日一回は質問することを心がけていました。日本だと分からないことを分からないまま放置していましたが、それを無くすように努めました。日本人の先生よりも知識量がすごく、自国の国だけでなく他国の問題なども詳しく知っており、質問をするといつも納得できるような回答が返ってきました。そのお陰で、私の知識量も増えた気がします。

文法よりも話している内容が伝わるか、自分にとって自然に話すということを意識しました。文法を考えすぎると会話にならないのでその点を特に気をつけました。

予習復習、知識を付けること、積極的に発言すること、分からないことは聞くこと

朝8時半から4時までの授業を毎日必ず出席しました。毎日授業を受けていると眠くなる日があると思うので私は夜11時寝て、しっかりと睡眠を確保するようにしていました。

分からない語彙が出てきたらすぐに調べるか誰かに聞くなどした。また、文法などで分からないことがあったら先生に質問するようにした。あてられた際に答えるだけでなく、分かったら声に出すようにした。

私は授業を受けるにあたって、分からない事は質問するようにしていた。日本にいる時の授業は、多少分からないことがあっても聞きにくかったり、聞く勇気が出なかつたりして質問をあまりしてこなかったが、カナダでの授業は、先生が質問しやすい環境にしてくれていたため、授業内容や課題など、分からないことがあれば質問して、その日の内に分からないことがないようにしていた。

分からない単語はなるべく英和辞書を使うのではなく、英英辞典を使って意味を調べたり、家に帰ってからしっかり復習をしたりしていました。そして、復習してわからなかった所をホストマザーに聞いていました。

とにかくメモを取ることを心がけていました。先生やクラスメイトが使ったフレーズや単語をメモをして使う努力をしたり、分からないところ聞いたり、ライティングの添削を先生にしてもらっていました。

自分自身でその内容を理解できるようになるため、分からないところや疑問に思ったところはその場で先生に質問するように努力していた

毎日出された課題にはただ答えて終わらせるだけではなく、120%するようにしていました。教科書のリーディングが課題であれば、知らない単語や言い回しには線を引き自分の単語帳にまとめていました。また、せつかくの機会だと考えてそこにある単語だけではなく派生した単語も学習するようにしました。Core classの教書チャプターが一つ終わるたびに毎回復習をしていました。

私が授業を受けるにあたって努力していたことは、毎日授業中に最低一回は発言することと授業以外に休憩の時でも英語を話すことです。私は、普段日本では発言することが減多になく、苦手だったので留学期間で身につけようと思い、毎日何かを発言しようと努力しました。カナダでは発言する機会が沢山あり、そのおかげで毎日発言することができました。また、クラスメイトと英語で話すことは私にとって一番努力しました。それは、日本人が多かったからです。日本人と日本語で話すのが習慣であったので、英語で話すのはとても緊張していました。しかし、話していくうちに緊張感が解けてみん

なで英語で話すことができました。

分からないことがあれば、積極的に聞いていた。また、間違った理解をしないように、先生の話をよく聞いていた。

教科書のトピックに沿って授業が進んでいくので、教科書の本文を読み込んだり、分からない単語があれば調べたりしてから授業を受けるようにしていました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどここの国の人でしたか。
0人	-
1人	インド人、他大学から留学に来ていた日本人

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
バス	15-30分	ホームステイ先
バス	30-45分	ホームステイ先
バス	45-60分	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
大きいベッド、学習机、服を収納する棚、全身鏡、ウォークインクローゼット	シャンプーや洗顔料などの日用品、ドライヤー、充電器、追加のバスタオル(一枚しか用意されなかった為)、衣類
机、ベッド、タンス、タオル	ティッシュ、シャンプー、リンス、洗顔、ボディウォッシュ、歯磨き
ベッド、机、イス、鏡、クローゼット、テレビ、ソファ	部屋は整っていたので、日用品と服しか持って行ってなかったです。私はドライヤーも用意されていましたが、周りの子たちは持参している子が多かったです。
勉強机、椅子、棚が2個、クローゼット、ベッド	歯ブラシ、歯磨き粉、化粧品、服、タオル
ベッド、タンス、クローゼット、ハンガー。扇風機、ライト	鏡、ドライヤー
ベッド、机、電気、クローゼット	服、ドライヤー、シャンプー、リンス、ボディウォッシュ、化粧品、保湿クリーム、常備薬、スリッパ、
ベッド、机、バスタオル	シャンプーリンス、ドライヤー、延長コード
勉強机、ベッド、冷蔵庫、クローゼット、テレビ	充電器、延長コード、
机、鏡、タンス、ペン立て、毛布、電気毛布、クローゼット、本立て、お菓子、洗濯洗剤	お風呂セット、筆記用具、ノート、薬など
WIFI、ベッド、ハンガー、勉強机、自分の部屋ではないけれど洗濯する際、ホームステイ先の洗剤を使わせてもらっていた	化粧水類、バスタオル、シャンプーリンス、ヘアアイロン、
ベッド、机、ハンガー、棚、洗濯物入れ	シャンプーリンス、スリッパ
棚、椅子、ベッド、掛け布団、枕、ハンガー、クローゼット	ドライヤー、タオル、洗剤、洗濯ネット、シャンプー、リンス、ボディソープ、ハンドソープ、延長コード、スリッパ
ベッド、勉強机、棚、クローゼット	私の家庭は最低限の物は揃っていました。
ベッド、布団、棚、ハンガー、タオル	シャンプー、リンス、ドライヤー、石鹸

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

食文化の違い、トイレとお風呂が一緒

洗濯が週に1回、夕食以外は自分で作る、お風呂は22時頃までに入る

色々な国の料理が出てきたこと、地下室があるのが普通なこと

洗濯が週に一回

洗濯機を使う場合は週末か平日の19時以降しか使えないこと。この時間内ならいつでも使っていていいといってくれたけど、ホストマザーは週末の一回しか使わなかったのが、1回で終わらずようしていました。毎日洗濯をしないことは驚きました。また、洗濯が終わったものは乾燥機に入れて乾燥させることです。日本では干して洗濯物を乾かすことが多いと思いますが、私のホームステイ先では乾燥機に全部入れてすべて乾燥させていました。

夕食の時間が5時半ぐらいで、早いこと。一般的な家庭は洗濯が週に一回なこと。

洗濯する回数、外靴を家の中で履くことができたこと

洗濯機を使える日が、週1回で曜日によって使う人が決まっていたことに驚いた。食器を食洗機で洗っていて、手で洗うことはほとんどないことに驚いた。

私のホームステイ先では、ハウスルールがありました。夜ご飯は主に17時半でした。日本では、もっと遅かったのが、驚きました。また、21時までにお風呂に入ることでした。友達と夜ご飯を食べに行っても早く帰らないといけなかったのがあまり時間がなく、戸惑った時が多かったです。

洗濯が週一回なところ。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

困ったことやしたいこと、わからないことは積極的に聞くこと。

わからないことや困ったことがあったらホストファミリーに聞くこと

洗濯ネットが壊れやすいためいくつか持ってくる。また洗濯機の威力が強いため、服が傷んでしまう。なので、捨ててもいい服、ワイヤーが入っていない下着などを持参するのがいい。

部屋にひきこもらずに会話をすること、自分の国や出身地についてよく調べておくこと

なんでも聞くこと、たくさん話すこと、部屋に引き込まないこと

私のホームステイ先では、部屋ごとにエアコンの温度を調節することができなかったのが、温度調節ができる服装は大事だと思います。私の場合はエアコンがきつくて寒く感じるが多かったのが羽織るものがあったのがよかったです。

自分の家事の役割を早めに相談しておくのを遣わなくてよいので楽だと思う。自分の部屋にこもらずファミリーの近くにいることでみんなの生活のルーティンが分かるので動きやすいと思う。誘われたところについていくとしゃべる機会も増えるので、なるべく優先した方がいい。

私のホームステイ先は、洗濯のルールが特になく週に何回でも使って良かったが、私の友達のホームステイ先はほとんど週に一回しか洗濯ができず、曜日も決まっているところが多かったのが、下着などを1週間分以上持ってくると安心。また、お風呂の時間の決められている家が多いように感じたので、ルールを守りながら、気を使わずに生活すると過ごしやすかった。

ホームステイの家族と仲良くする事。仲良くする為に出来るだけリビングにるようにする。私はわからない英語をすぐに聞けるように、リビングで学校の宿題をしていました。

ホストファミリーとコミュニケーションをよく取ることです。暇な時はほとんどリビングにいて、よく質問をしたり、今日の出来事を話したり、できるだけ会話をしていました。

ホストファミリーとたくさんコミュニケーションをとって仲良くなること

ホストファミリーと話す時間も大切ですが、自分の時間を一日に一度は作ったほうがいいと感じました。

事前にホームステイ先に何が必要なのかを聞くことが大事です。私は、ドライヤーを聞くのを忘れてしまい持参したのですが、ホームステイ先にありました。帰る際には、お土産などで荷物が増えると思うので、聞くことが大事だと思います。

ホームステイはマザーに注意やあらかじめ言われた事はきちんと守る事です。あと、分からないことがあれば、すぐ聞くことです。質問する事はすごく勇気がいることです。私も実際躊躇っていました。でも聞かずに過ごしていると、間違った行動をする可能性があるのです、分からないことがあれば聞くことが本当に大切です。

コミュニケーションをとろうとすること。分からないことは質問すること。当たり前ですが、おはよう、行ってきます、ただいま、おやすみ、ありがとうなど挨拶や感謝を忘れないこと。

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

Game Activity, Open gym などの放課後のアクティビティに積極的に参加した。また、SDGsのクラブに参加して、ボランティア活動や学校の整備活動、SDGsについて様々な角度から知識を深めた。

ダウンタウンやショッピングセンターで買い物、湖に行く

大学主催のプログラムにいくつか参加したが、体験型のものが少なかつたため、一度きりで終わってしまった。

少しだけ成績に入るイベントがあったので、休み時間や放課後に参加していました。

ほぼ毎日イベントがあるので参加する(ゲーム、映画、ボランティア)

放課後やお昼休みなどに学校が主催しているプログラムに参加したりしていました。このプログラムは授業のクラス関係なく、みんなでゲームをしたり、ボランティアをして SDGs を学んだりしました。

週2回午前だけの授業の日があったので、課題をしに大学のカフェテリアに行ったり、ジムに行ったり、ダウンタウンを散策した。また、ボランティアサークルにも参加した。休みの日はオタワやトロントに遊びに行ったり、ホストファミリーと出かけたりした。

昼休みに同じプログラムの人とコミュニケーションを取る機会があり、一緒にゲームをしたりお昼ご飯を食べたりして友達を作る機会があった。また、週に1回、オープンジムがあり、そこでは好きなスポーツをできるので様々な国の人と関わられる機会だった。

私は学校が主催しているイベントに積極的に参加しました。折り鶴の会、スポーツ、カラオケ、ゲーム等のイベントに参加しました。このイベントに参加することによって、クラスだけじゃなく、色んな友達が出来ました。私はこのイベントに参加して、色んな国の人の文化や言語を交流できました。

大学の主催のアクティビティによく参加していました。そのアクティビティは、カラオケ、ジム、折紙、ゲーム、ボランティアなどいろんな人が楽しめるような内容でした。

学校主催のアクティビティに参加していた

メインキャンパスで勉強をしている学生の方とパートナーになり、散歩をしてカフェに行ったり、ご飯を食べに行ったり、友人のように会話できるイングリッシュパートナーのプログラムに参加していました。また、トロント、ナイアガラトリップに参加しました。

大学では、昼休みや放課後にボードゲームを使ってみんなでゲーム、カラオケをしました。自由参加だったので、行きたい時に行けてとても良かったです。また、毎週金曜日にはボランティアクラスがあり、ボランティアについてディスカッションし合い、昼休みに募金などをしていました。クラブ、サークル活動はなかったのですが、毎週水曜日の昼休みに体育館が使えるようになり、みんなでサッカーやバレーなど様々なスポーツができました。

課題などがなければ、街を散策したり、外で食事をとったりしていました。

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

メインキャンパスにあるジム

ティムホートン、ショッピングセンター

学校にあるジムを数回使用したのと、ダウンタウン周辺のカフェ巡りをしました。バスで20分ほど離れたところにあるカタラキーセンター(ショッピングモール)で買い物もよくしました。

近所の散歩、学校のジム、スーパーやショッピングモールで買い物

Dollarama, Walmart, Food Basics, Tim Horton, Milestones, Cataraqui Center

学校終わりには学校の一階に机やソファがあったりする場所にいました。そこで友達と一緒に課題をしたり、旅行の予定を立てたりしていました。また学校の近くのTim Hortonというドーナツ屋さんによく言っていました。あとはタウンタウンやショッピングセンターに行っていました。

ARCにジムがあるのでよく行き、そこで課題もした。Dollarama(\$1shop)にもよく行った。

カナダには、ティムホートンというカフェのようなドーナツ屋さんがたくさんあり、お昼ご飯や放課後によく利用した。そこはほかのカフェよりも値段が安く、地元の人もたくさん利用するお店で店舗数も多いのでとても便利だった。旅行などで早朝のバスに乗る時でも、朝早くから空いているのでいつでも利用できた。

レストラン、モール

図書館や大学のジムによく行き、体を動かし、課題や個人の勉強をしていました。学校帰りにレイクに行き、友達を泳いだりもしました。

ジムや図書館をよく利用した

放課後勉強するときは学内にある図書館を利用していました。体を動かしたいときはメインキャンパスの方にあるジムに行っていました。学校から徒歩6分ほどで行くことのできる場所にお手頃価格のカフェがあるためよく利用していました。私の家の近くにショッピングセンターがあったため土日はそこへショッピングに行っていました。

学内では、図書館をよく利用していました。英語で書かれている本が沢山あったので、本を借りて図書館で時々読んでいました。また学校付近では、Tim Hortonsと言うカフェをよく利用していました。カナダにしかないお店であり、コーヒーが沢山売っているので、勉強の時によく飲んでいました。

カタラキーセンターというショッピングモール

学内での自由時間は昼食の時間ぐらいだったので、学内の机やソファなどですごしていました。学校近辺だと図書館、ダウンタウン、ショッピングモール、映画館などで過ごしていました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

日常会話の強化

リスニングの強化

英会話を半年ほど通っていました。英会話に通っていたおかげで、少しは外国の方と話す抵抗が減ったような気がしました。

色々な国の英語の発音に聞きなれること

衣服、日用品、勉強道具

留学前はカナダに留学に行っていた友達からたくさん話を聞いてカナダについての知識を増やそうとしていました。この話を聞いたからこそ、準備するものなど悩むことなくほとんどを縦鼻することができました。また、少しでも英語力を伸ばすために英語の勉強はしました。

留学をしている人のYouTubeを見たり、毎日何か英語に触れるようしたりしていた。また、カナダについて調べて行きたいところをピックアップした。

留学前はできるだけ毎日耳を英語に慣らすように心がけた。どんな話題のものでも英会話を聞いたり、映画を見る時は洋画、音楽を聴くときは洋楽を聞いたりとできるだけ英語に触れる生活をした。

単語、洋画をみる
レストランなどで使える英語の習得
カナダや留学先について調べた
日常会話で使われる言い回し書かれている本で勉強をしていました。自分が留学する地域や国について調べて事前準備をしました。ホストファミリーに披露する日本食を作る練習
私が留学前に準備したことは、留学先の国について学ぶこと、また日本と自分の地元について説明できるようにすることです。留学に行ってから、ホームステイ先の人との会話で現地の話や日本についての話がとても多かったです。また、学校でもこのようなトピックが挙げられていたので、事前に準備しておくとても便利だと思いました。
最低限の英語のフレーズや単語を覚えていた。
オンライン英会話をしていました。

留学前にしておけばよかったと思う準備
オンライン英会話の受講
勉強をして、より上のクラスに行くべきだったと思います。私は所属していたクラスで満足でしたが、私より下のクラスの子たちは、クラスのレベルに納得することができず、これだったら日本でもできるのにと不満を漏らしていることが多々でした。あとは、リスニング力を鍛えておくと、ホストファミリーともっと会話をできたと思います。
語彙力
留学先国や大学についてもっと調べること
カナダについての下調べ。カナダに何があるのか、有名なところなどをもっと調べておけばよかったなと思いました。ナイアガラの滝などどこにあるのかも知らなかったのもっとカナダについて調べておけばよかったなと思いました。
簡単な単語をもっと覚えていくこと、いろんな映画を見て話しのネタになるようなものを用意しておくこと、日本の説明ができるようにしておくことは準備不足だったと思う。
留学前にもっとしとけば良かったと思うのは、スピーキングの練習だ。実際のネイティブを前にすると言えるはずの単語ですら出てこなくなったのもっとスピーキング対策をして、語彙も増やすべきだったと思った。
中学レベルの英文法を完璧にしておくべきだった。
留学前から日常会話を話せるのもっと英語の伸びがあったと思う。
日常で使えるフレーズや相槌をもっと身につけておくべきだった
英語を耳に慣れさせておくために英語のドラマや曲を聴いていけば、到着してすぐ慣れることができたのではないかと感じています。
私は、英語の試験を受けることと英語の勉強をしておけば良かったなと思いました。英語の試験を受けていれば、留学行く前の自分のレベルが分かり、どのぐらい英語力が上がったのかわかることができたなと思いました。また英語の勉強では、英会話スクールに通うなど、スピーキング力を高めてから、留学に行きたかったです。留学に行ってスピーキング力は伸びましたが、行く前から英会話などをしていたら、もっと喋れるようになっていたのではないかと感じました。
もう少し英語を話せるようにスピーキング力をつけていればよかったと後悔しました。自分のスピーキング力が不足しているせいで、何度も伝えたいことや話したいことを言えずに終わる事が多かったり、英語で話が弾まなかったりしたので、ある程度会話できるようにした方がいいと思います。
日常会話のフレーズを勉強すればよかった。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

日本のお菓子

日本食、リセッシュ

役に立ったものは、首のクッションと、洗濯ネット、日焼け止め、調味料です。

お菓子

マスク、保湿するもの、ドレス、日焼け止め、日本のお菓子

役に立ったものは常備薬です。私はカナダと日本の気候や環境が全然違いすぎてすぐに体調不良になっていました。そんな時に日本から持って行っていた風邪薬などは安心して使用することができ、すぐに体調も良くなりました。また私はお土産としてホストファミリーにお味噌汁をもっていきました。ホストマザーはお味噌汁がすごく好きで喜んでくれました。またご飯の時にスープとしてお味噌汁を出してくれた時もありました。

土産の日本っぽい扇子は可愛くて喜ばれた。タオルなどの実用的なものも感謝された。自分の肌に合う化粧品、日焼け止め、胃薬などは持って行っておいてよかった。

延長コード。コンセントの位置が部屋の真ん中にあっただので、延長コードがあるととても便利だった。また、ホームステイ先に持って行って喜ばれたものは、こんにやくゼリーだった。また、日本製の化粧水などの肌や体につけるものはできるだけ持って行ったほうがよいと思った。カナダにも売ってはいるが、合わないこともあるので日本製を持っていくべきだと思った。

インスタントのお味噌汁と醤油

日本のお菓子、日本の筆記用具

散髪ハサミ、シャンプー・リンス

自分の好きな日本のお菓子、胃薬、抹茶味のお菓子

私が日本から持って行って役に立ったものは、レトルトの味噌汁と白ごはんです。日本食が恋しくなるので、持っていくととても便利です。向こうでの日本料理のレストランは、料金が高いので、手軽に食べることができるものを持って行く方がコスパが良く、オススメです。

日本のお菓子、シャンプー、リンス、とりと、スキンケアグッズ

日本のお茶は売ってないので、水に溶かせばお茶になる粉は持って行って良かったと思いました。喜ばれたものは日本のお菓子です。

日本から持っていく必要のなかったもの

日本から持参すればよかったと思ったもの

ドライヤー、シャンプー

バックご飯

不必要な服

なし

必要以上に日本食は要らなかったです。アジアスーパーがととてもたくさんあるので、お値段は張りますが、本当に必要な時はそこで買うこともできます。荷物に余裕がないのであれば、日本食は後回しにしてもいいと思います。洗濯用洗剤も、ほとんどの家庭が家にあるものを使わせてくれたので、日本から持っていく必要はないと思います。

長期フライトになるので、首のクッションは持っていくべきです。日本だと100均で高クオリティーのものを購入することができますが、カナダだと、日本と同等のクオリティーを求めると数千円払わないといけないので、もったいない出費だと思いました。洗濯機の威力も強いので、洗濯ネットが壊れてしまい、カナダで買い直しましたが、クオリティーがそこまで良くないため、数回買い直す羽目になりました。

変圧器

日本食や調味料

タオル、日用品(こだわりがなければ現地で買えます)

ムヒ、虫よけ、

特にはありません。

日本食。ある程度日本のご飯とお菓子をもっていったのですが、ホストファミリーにお土産として日本食を渡したときにすごく喜んでくれてすぐに食べてくれたので、もっともってこればよかったなと思いました。また、お醤油や焼き肉のたれなど料理に使えるものをもって行って紹介できたらよか

	ったなと思いました。
水筒は学校からもらったので必要なかった。現金もほとんど使うところがないので1万ほどで十分だった。	蚊が多いのでムヒ、帰りの方が服が増えていたので圧縮パックを多めに、小さいウェットティッシュを多めに持参すればよかった。
ホームステイ先へのお土産にお箸を持って行ったが、以前にも日本人を受け入れていたホストだったので、よく日本人を受け入れているような家庭では、お箸は被ってしまうことがあると思う。	運動靴。自由に体育館を使えることがあり、私はバスケットをしたかったのでそれ用のシューズが無くて困った。3カ月なので買うのも勿体なく日本からスポーツシューズを送ってもらっている日も多く見た。
特になし	服。物価が高いのであまり向こうで服を調達できない。
洗剤、洗濯用ネット(乾燥機でネットが壊れる可能性があるため)、ルーズリーフ(ノート一冊あれば足りた)、	風邪薬(環境の変化で体調を崩しやすかったので多めに持っていけば良かった)
日本食のレストランやアジアマーケットがあったので、日本食を持っていく必要はなかったかなと思った	旅行に行く機会が多かったので、シャンプーなどを入れるトラベル用の小さいボトルを持ってこれば良かったと思った
ハンガー、だし、日本人らしい服	足りないと感じたものは現地で安く調達できるから、特になし
なし。	日本から持参すれば良かったものは、日本のお菓子です。カナダのお菓子はとても甘くて、私は甘いものがあまり好きではないので、あまり口に合わなかったです。
ハンガーやドライヤー	英語の参考書。分からないことがあれば、再度開いて勉強することができる。
電池	延長コードがあれば便利だと思います。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
現金、クレジットカード3枚(VISA2枚)、デビットカード1枚	現金5万円、クレジット上限30万円が1枚と10万円が1枚
現金5万、クレジットカード2枚	現金5万
クレジットカードと、現金	口座に100万円程準備していき、ほとんどデビットカードを使用していました。いくら使ったのかすぐに分かり、上限もないので便利でした。現金は空港で2万円分換金しましたが、現金を使うことはほとんどありませんでした。
クレジットカードと現金	現金はカナダドルで空港で2万ほど変えて、日本円4万くらい
現金、デビット	現金10万円、デビット上限30万円
現金は2万円だけカナダドルに換えていきました。ほかはMastercardとvisaカードを持っていきました。どちらのカードもクレジットカードでプリペイドカードは用意していませんでした。	現金は2万円。カードは上限が20万のものを2枚とデビットカードを準備しました。
クレジット、デビット、現金\$100ほど。	クレジット上限50万、デビット10万、現金1万。
ビザとマスターカード1枚ずつ。現金	クレジットカードは上限なし、現金は約2万円分
マスターカードと現金とcash passport	現金は2万円、クレジットは上限なし
クレジットカード、デビットカード、現金	口座に30万円、現金は1、2万円分のカナダドルを日本で両替して持っていた。
クレジットカード、プリペイドカード、デビットカード、現金	現金10万、クレジット上限30万、プリペイドカード10万、デビットカード4

	0万
VISA カード、キャッシュカードを用意しました。	現金 5 万円、キャッシュカード 10 万円、クレジットカード上限40万
クレジットカード 2 枚、キャッシュパスポートカード、現金	クレジットカード 10 万上限、クレジットカード 30 万上限、キャッシュパスポート、現金 2 万円
クレジットカード 2 枚	クレジットカード上限 30 万円、現金 5 万円
現金10万円ほど。クレジットカード二枚、デビットカード一枚。	現金10万円ほど。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

外食費のみ現地で支払った。一食約1000円。

ホームステイなので日本で支払った費用に住居費と食費は含まれていた。

私は毎週土日のどちらかを外食することが多かったのと、物価の問題で一回が3~4千円ぐらいだったので食費は正確には分からないが高かったと思う。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代は一万円程。通学費はプログラムに組み込まれていた。

テキストは 1 万円、通学費はタダでした

テキスト代8000円

テキストは約 9000 円で、通学は学校の学生証を見せることによって無料で町のバスに乗れました。

テキスト代は5~6千円で、通学日は、学校の学生証を見せるとバスに乗れたので、費用は掛からなかった。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

毎月10万円ほど

70万

旅行費全て合わせて 55 万円程、買い物(服、日用品など)7 万円程、食事 10 万円程使いました。私は毎週のように外食に行き、月に2回は旅行に行っていたのでこのような金額になっていますが、他の人たちはもっと少なかったです。

60 万行かないくらい

30万円

旅行はアメリカに行ったり、カナダでしか経験できないことをたくさんしたので、50~60 万円ぐらいかかりました。

旅行や友達とご飯に行って 30 万くらい、お土産に 5 万くらい。

私は旅行をニューヨークとロサンゼルスに行ったのもあって買い物などを含めると30万以上かかった。

旅行費用でおよそ 50 万くらい。旅行の食費やお土産をあわせて

服や靴に1~2万円くらい使いました。日本から十分な量を持っていったので現地で調達することはあまりなかったです。旅行では一回三、四万円くらい使いました。

旅行25万(ホテル、交通費、ライブ代)買い物10万

土日に買い物へ行った時は上限1万円と決めていました。

旅行費 35 万円、お土産 5 万円、買い物 8 万円

旅行には 30 万円ほど、買い物などは月に三万円ほど使いました。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
語学力、コミュニケーション能力は確実に上がった。英語で会話をしても途中で止まることが無くなった。
リスニングはネイティブの会話についていける程度、スピーキングは簡単な日常会話
外国人と話す抵抗がなくなったため、コミュニケーション能力は上がったと思います。また、会話の全貌が分からなくても、部分的に分かっていれば何となく伝えたいことが分かるようにもなりました。今まで会話をする時は頭の中で日本語訳を考えてから英語に変換していましたが、それをする回数が減ったような気がします。
海外で実際に使う語彙力の向上
話すこと、聞き取ることに自信ができました
語学力、コミュニケーション能力は留学前に比べて伸びたと思います。留学したときは学校にもたくさんの留学生がいてたくさん海外の友達ができるかなと思っていたけど、なかなか外国人の友達は作れませんでした。でも英語を話す機会がもっと欲しかったので、自分からネイティブの方に話しかけに行ったりして英語を話す機会をたくさん作りました。この行動を通して、私の語学力とコミュニケーション能力は伸びたと思います。
リスニングスキルはとてもの上がったと思う。ホストファミリーと話すのに日常会話くらいはできるようになったし、お店に入っても緊張せずに料理のオーダーや店員との会話はできるくらいになった。スピーキングは頑張って伝えれば伝わるが、発音がうまくできず説明が必要だった。
語学力は、ホストファミリーと会話をして日本にいる時よりも日常会話ができるようになった、特に、習う英語というよりはネイティブが実際に使うスラングなども知れたので、生きた英語を勉強できた。また、コミュニケーションに関しては、今までよりも積極的に人に話しかけたり会話をしたりすることで友達も作ることができた。
失敗に恐れずに会話を継続させる力は身についたと思う。リスニング力もついたが、自分の言いたい事をすぐに英語で変換する事が難しい。
外国の人にたくさん関わったため、どのようにコミュニケーションを取ればいいのかを知ることができ、留学中に声をかけられた時も話することができました。単語力が欠けているため、ホストファミリーとの会話で分からない単語が割と出てきたので向上すべき点だと思います。
授業内容やホストファミリーとの会話がほとんど理解できるようになっていたため、リスニング力はかなり伸びたように感じる。誰とでも話せるようになったと思う。
この留学を通して、自分自身の語学力は上がったと感じています。まず、日常的に友人とも進んで英語を使って会話をし、日本語よりも確実に英語に触れている時間の方が長かったため、耳が慣れてきてリスニング力は一番上がったと思います。スピーキングも突発的に出てくる一言が英語になる程、自然と口から出るようになっていました。しかし、もっとボキャブラリーの勉強をしたらもっと簡単に会話することができるのだろうと感じました。私は初めての人に話しかけに行くことは苦手でしたが、限られた時間だと考え多くの人に自ら話しかけに行くことができるようになりました。
語学力では、単語や文法の知識は上がり、時々ネイティブに近い発音で会話することができました。単語や文法は授業で勉強しました。留学当初は、英語の発音が下手で英語で話しても伝わるができなかったけど、話していくうちに英語の発音が上手くなっていき、聞き取ってもらえることができました。また、コミュニケーション能力では、聴く力、伝える力、そして質問する力が向上しました。ホームステイ先の人と話すことが一番多かったため、コミュニケーション能力を高めるために、積極的に話しかけたり、色々な質問をしたりするように心がけました。

留学前の目標とその達成度
目標は「現地の文化を肌で感じる事」だったが、確実に体験できた。学校生活やホームステイ生活、現地のイベント、全てにおいて異文化を体験することが出来た。
スピーキング力があまり上がらなかった
留学前はホストファミリーと1日1回は会話をし、できるだけ多くの時間を一緒に過ごすという目標を掲げていたのですが、実際は一緒に食卓を囲む機会も少なく、みんなご飯が終わるとそれぞれの部屋でくつろぐので、私も自分の部屋で過ごす時間が多くなってしまいました。
もっとネイティブのように流暢に話せるようになること、達成度は4割

伝えたいことを伝えられるようになった、ネイティブの語彙やイディオムを理解できるようになった
留学前の目標は英語がペラペラ話せるようになることでした。でもこの目標を達成することはできませんでした。英語力は留学前に比べたら伸びたと思います。でも自分の意見や考えを伝えるときすらずらと伝えられないし、どうしても単語が思いつかなくて詰まることがたくさんあるので、自分の目標にはあまり達成できなかったなと思います。
いろんな人の考え方や価値観を知ることは、あまりたくさんの人と深い話を出来なかったのも、あまり感じられなかった。思っていることを人に伝えることは、最初はできなかったけど慣れてきてだんだん思いを伝えられるようになったので、100%ではないが達成できたと思う。
留学前の目標は、日常会話を話せるようになることで、実際、日常会話は聞き取りがよくできるようになったがたまに会うホストファミリーの親戚や男性の低い声となるとリスニング能力も落ちて、会話も難しかったので、特定の人に限らず様々な人と日常会話をするということは難しかった。
正直、達成は出来ていないが、又頑張ってみたいと自分の可能性を見つける事が出来た。
留学前の目標はコミュニケーションが円滑にできること、カナダの文化に触れ異文化を受け入れることでした。日常の会話は無理なくすることができるようになり、カナダの文化もホームステイで体験することができました。
留学前の目標は積極的になることだった。留学を通して、先頭となって行動することにも抵抗がなくなり、トラブルに直面しても自分で行動に移せようになったので積極性が身についたと思う。
留学前の私は、積極的に行動し、何かに参加して誰かに話しかけに行くことはとても苦手でした。自分の意見が間違っていたらどうしようなどと考えてしまい、中々自分の意見を発言することはしていませんでした。しかし、日本から広い世界に飛び出すのだからいつまでも自分の性格を言い訳して行動しないより、自分を変えることができるくらいの行動を試みようとして目標を定めました。そして、この留学を通していつも自分だったら参加しないプログラムやアクティビティ、行ったことのない場所への探検をすることができました。
留学前の目標は、英語で自分の伝えたいことや聞きたいことを質問できるようになることでした。留学に行き、それらの目標を達成することができました。伝えるのが難しい時は、二、三文に分けて言ったり、自分なりに工夫して頑張りました。また質問では、毎日何かを質問することを心がけていたので、スムーズに質問することができました。
留学する前はこんなに周り日本人だらけと思っていたので、とても高い目標を立てていたけど、実際あまり達成できなかった。だけど、少しは達成できた。
目標は英語に抵抗をなくすことで、80パーセントは達成できたのではないかなと思う。

留学を通しての成長ポイント

自信がついた。一人で行動すること、グループ内で意見を出すことなど。
自分の意見を曲げずに言えるようになった、沢山のことに挑戦する力がついた
コミュニケーション能力があがったので、それをアルバイトで活かすことができています。スターバックスで働いているのですが、先日閑空のヘルプに行き英語を話す機会がとても多かったです。対応には困らなかったと感じます。また、難波で外国人の方が話しかけて来てくれた際は、彼らの要望を聞き、おすすめの店を提案できたのもいい思い出です。
自分で計画を立てて実行する力は着いたが、語学力にはあまり影響はないように感じた
何事にも挑戦すること、失敗を恐れないこと、なんでも自分で考えて行動すること
留学をしてたくさんの人と交流したし、たくさんを経験しました。この経験を通して私は問題解決能力がついたと思います。留学で経験したことはすべてが初めてのことで、わからないなりにたくさん自分たちで調べたり、人にも聞いたりして、最善の方法を探していました。今まではほとんど日本で過ごしていたので何となくなんでもわかる状態だったけど、海外ではそんなにうまくいくことも多くはなかったのでその問題に対して前向きに解決する能力はすごく成長したと思います。
授業の予定がタイトで課題の提出期限もバラバラだったりして、時間に厳しかったのでタイムマネジメント能力、色んなところに旅行に行ったので計画性、分からないことは恥ずかしがらずに人に尋ねる力。ストレスがたまること多かったのでストレスをどう対処するか、またそれに耐える忍耐力も身についたと思う。

今回の留学で、カナダの文化に限らず、同じ学校に留学に来ている様々な国の文化を知って自分は様々な固定概念を持っていたことに気づかされ、視野が広がった。また、思っていることを言葉にして伝える大切さが分かった。ホストファミリーが嫌いな食べ物があれば言ってほしいと言っていたので最初や遠慮していたけどはっきり伝えると喜んでくれたので、思っていることは心から通じると思うのではなく、言葉にする重要性を学んだ。

失敗を恐れずに何事にもチャレンジ

成長ポイントは恐れず他人に聞く力やリスニングの力が留学を通してグンと伸びました。たとえ拙い英語だとしても耳を傾けてくれて教えてくれたり、1日のほとんどの時間英語に触れていたのが気づかないうちにリスニング力が鍛えられていました。

何でも挑戦しようとする力が身についたと思う。

私は挑戦力が身についたと考えます。今まで消極的で自分に自信がありませんでした。そのため、何か新しいことに挑戦してもどうせ失敗するからしなくてもいいと考えていました。しかし、自分が挑戦すると決めた留学は三ヶ月しかない、自分の選択肢次第で何でも経験できると考えるようにしました。そして、初めは自分の部屋にいたことが多かったですがリビングに行くことを増やしホストファミリーとの会話も増やすことができるようになりました。また、学校ですれ違った友人には自分から挨拶して話しかけに行ったり、一人でも学校主催のイベントに参加したりするようになりました。このようにした結果、恐れることなく挑戦するようになりました。

留学を通しての成長は、コミュニケーション能力の向上と積極的な行動ができるようになったことです。コミュニケーション能力は、現地の人と話す際に必要なものであり、特に伝える、聴くことは必要なことでした。そのため、私はその日に話した会話を復習したり、聴き取れるためにはリスニングが大事だと思ったので音声を聞き、勉強をしました。また積極的な行動では、自分から現地の人に声をかけたり、留学生に挨拶をすることです。初めの時は、英語を話すのが習慣ではなかったため、声をかけることが難しかったけど、周囲の日本人が積極的に色々な人に話しかけている姿を見て私も頑張ろうと思い、積極的な行動ができるようになりました。

確実に言えるのは本当にリスニングが伸びた。来る前と帰国した後と比べると聞き取れるようになった。私は実際ホームステイだったのですが、最初何を言っているのかさっぱり分からなかったけど、帰国寸前は何を言っているのか理解ができるようになっていて、3ヶ月はあっという間だけど、雄ーリスニングが実感できた。

問題が起きて一人で解決しようとする力が身についた。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

モチベーションは飛躍的に上がった。英語の対する興味や楽しさを留学前よりも持つことが出来ている。

もっと勉強したいと思った

留学前は少しでも英語力が伸びればいいなと思っており、留学中もモチベーションは一定のまま、こんなにも英語力が伸びないものなのかと、焦りと不安がありました。帰国後は、英語を通して人助けをできる楽しさに何度か触れ、やはり将来は英語を使える仕事をしたいなと思っています。

思ったより変化がなかったためモチベはそんなに上がらなかった

以前よりさらに英語を学習したいと思った、たのしいと感じるようになった

留学前は文法をすごく大切にして勉強していたけれど、留学して英語を話していたら文法よりも語彙力のほうが大切だなと思いました。そのため単語は留学前よりも勉強しています。また、英語で外国人のこと話していたらいろいろな文化を見つけることができてもっとたくさん外国の友達を作りたいってなりました。これによって私の語学学習に対するモチベーションは上がりました。

留学前は未知の世界だったので会話できるようになれたらいいなくらいのモチベーションだった。留学中は理解できないことも多々あって、日本に帰って日本語しかない環境に行きたいと思ったこともあるが、楽しく英語で会話できた時はもっと伝えたいという気持ちが大きくなってモチベーションが上がったりしたので、とても波があったように感じる。留学後はもっと英語を話せるようになってもう一度ホストファミリーに会いに行きたいという目標があるので英語をただ学びたいという気持ちより目標のために英語を学びたい気持ちが強くモチベーションが上がったと思う。

留学前は、準備と留学が迫る焦りでモチベーションがあまり上がらなかったけど、留学が始まり日に日にもっと会話できるようになりたいと思い、そのために語彙を増やしたい気持ちになったのでモチベーションが上がった。留学後は、身につけた英語を忘れないようにしたいのと TOEIC や TOEFL に活かしたい気持ちからモチベーションを維持している。

留学前は不安が勝ってしまい、勉強に集中できていませんでした。留学中は英語を伸ばそうと一生懸命努力していました。留学後は日本にきている留学生とコミュニケーションを取る機会を作ろうとしています。モチベーションは留学期間中が一番あると思います。

留学を通して、英語の楽しさや自分の弱点を明確に知ることができたので、留学前に比べ、英語に対するモチベーションがあがり、もっと英語に興味を持つきっかけとなった。

留学前は、行くだけでなんとなく話せるようになって帰ってくることができると考えていました。しかし、実際に行ってみると自分で勉強しなければ新しい単語には出会うことはできないし話す機会も失っていくことに気づきました。そこから授業で使うテキストから知らない単語を見つけるとその派生語まで勉強するようにしました。また、他国からの学生はもちろん、日本人同士で会話する時も自然と英語で会話するようになっていました。留学から帰ってきた今は、学校でできた他国の留学生と連絡を取り続けていてメールのやりとりや電話をしたりして自分の中から英語が無くならないように取り組んでいます。

留学前は、外国に行く実感がなく、モチベーションはあまりありませんでした。留学中では、英語を話さないといけない環境であったので、はじめは苦戦したけど話せるために勉強しました。英語で話すことが慣れる頃には、人と会話することが私にとってのモチベーションでした。留学後では、日本にいる外国人に声をかけられ、長時間話しました。日本でも英語を話す機会があると気づき、英語の勉強を継続できるように頑張ろうと思えました。モチベーションを保つために、楽しみながら学習できる映画やドラマを見ている。

留学する前はとても気合に溢れていて、絶対現地の友達を作って英語力を上げるぞと気合に満ち溢れていましたが、実際留学中は日本人学校みたいで、英語に対するモチベーションが下がりがつあったけど、ホームステイでなんとか英語を話す機会があったので、そこで保つように頑張りました。

自分の未熟さを知り、もっと勉強しなければという気持ちになった。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

トロントに一人旅行をしているときに、自分から現地の友人を作ったこと。

アメリカや初めて行く場所で現地の人に話しかけた時

プレゼンテーションです。私の勘違いで、水曜日に行われると思っていたプレゼンが、本当は月曜日で、いつもなら原稿などを作って備えていたのですが、それをやる時間もなく、ぶっつけ本番で挑みましたが、いつもと変わることなくプレゼンを終えることができました。これを通して、その場で考えてスピーチするのも意外と難しくないものだと感じました。

ニューヨークで地下鉄の使い方がわからず迷子になりかけた時

ファイナルアサイメントのエッセイ

習慣はないけど、毎日の授業を出席して単位をもらった時は全力でやり切ったなと思えました。毎日 8 時半からだだったのでぐっすり眠る日もあったし、環境の変化で風邪ひいていた日もあってしんどい日も何日かありました。でも、そんな日も頑張って学校に行き、皆勤で学校を終われた日はすごく達成感を感じることができました。

ニューヨークでバスが故障して乗り換えをしないとといけない時に何を言っているかわからなくて夜中に真剣にバスの運転手の話を聞いたときは 100% の力でリスニングをした。

私が一番頑張ったのはスピーキングの授業の最後のプレゼンテーションだ。この授業では中間のときにも一人でプレゼンテーションをすることがあり、その時私は原稿を丸暗記したものの緊張もあって自分が思っているようには進められなかったのが悔しかったのでその反省点を活かして最後のプレゼンテーションは準備も練習もたくさんした。また、最後のプレゼンテーションは原稿を作るのをやめて流れだけ考えて自分で英文を考えながら話すようにしたら、スムーズにでき、先生の評価も良いのをもらったので嬉しかった。

プレゼンテーション

留学期間の初めの週だと思います。クラスでは日本人学生が多かったため、できるだけ他国の学生と友達になろうと話しかけたり、ホストファミリーに 1 日の出来事など毎日 3~4 時間ほど会話する機会を設けたりしていました。人見知りする私にとっては慣れるまでの間、常に話すということに意識を向けていました。

学期末のレポートの基づいたプレゼンテーション

最後の期末テスト期間です。成績80%以上をとって A 判定をもらうことを目標に勉強をしていました。プレゼンが3つ、テストが3つありました。毎日友達と放課後遅くまで学校の図書館に残り、プレゼンの準備やテストに向けた勉強をして、家に帰っても夜遅くまでかけて最後の確認をしていました。全てにおいて後悔のないように、勉強したものを自分の身につくようにと考えていました。そして全力を出し切った期末テストを終えた結果、成績が80%を超えることができ A-をいただくことができました。

それは、現地の友達と2人でご飯行った時とホストファミリーと車で出掛けに行った時です。初めて2人でご飯に行ったので、聞きたいことが沢山あり、積極的に質問することができました。また、ホストファミリーと車で2時間かかる場所に行ったのですが、会話を続けるために色々なトピックについて話したりするなど頑張りました。

クイーンズ大学は本当にテストが多かったので、毎回のテストは100%出し切るように頑張っていました。授業によっては毎週テストがありました。

留学先大学の良かった点

自然にあふれたキャンパス、多くのアクティビティ

トロントやオタワ、モントリオールなどの大都市に近かった

施設が整っていたのと、外大に比べてイベントも多かったですし、祝日も確保されていた点が良かったです。

フレンドリー、習いたいことを伝えたらそれを授業に取り入れてくれること

先生が皆さん優しく、フレンドリーだったので、世間話や相談などなんでも話しやすいこと、クラス別に自分に合った授業をしてくれること、

先生がみんなフレンドリーで初めから最後まですごくサポートしてくれました。また、担任の先生は授業に変化が出るように工夫してくれたりして3か月すごくあっという間に過ごすことができました。大学の近くにはダウンタウンもあって放課後も楽しく過ごすことができました。

キャンパスが広くてきれいだった。先生がみんなフレンドリーでたくさん学生がいるのにしっかり名前を覚えてくれたり、相談にも乗ってくれたり、否定的なことを言う人が一人もいなかった。

私が通っていた学校は、優しい先生ばかりで人が良く学生の見方になってくれる人が多かったのでとても良い環境だった。

施設が凄く充実していた。

フレーズを使ったスピーキングの授業があったので、毎週英会話のスキルが上がっているように感じました。授業中に英語を話す機会がたくさんあったところはとても良かったです。

設備の整ったジムや、市バスを無料で利用できたこと

いつでもどんな質問でもウェルカムに迎え入れてくれる職員室にいる先生たちがとても良かったです。毎週4回ほどアクティビティがあって違うクラスの学生とも交流する場がたくさんあったこともとてもいい機会だったと思います。

良かった点は、交通機関です。バス停留所から大学がとても近く、行きやすかったです。大学内にはwifiがあり、通信速度が速かったです。

きちんと英語の使い方や隔々まで教えてくれたところや、本当の英語のフレーズの使い方や、優しい先生たちばかりで本当に助かりました。プレゼンや単語テストなどたくさんあったので、より力をつける事ができました。

ジムが使い放題だったこと、メインキャンパスがきれいだったこと。